

大府 かわら版



オープン
まで1年

おおぶ 木のおもちゃ美術館

子どもたちは利用しやすいか？

市議会総務委員会で質疑

横根町の旧大府市ディスプレイセンターを改修（改修範囲994・55㎡）し、令和9年度に開館予定の「おもちゃ美術館」について、この3月議会の総務委員会で質疑が行われました。全国的には、営利を目的とせず地域貢献などの活動を行うNPO法人がおもちゃ美術館の管理運営に携わっています。大府市では開館初年度は管理運営を市が行う予定です。

入館料が格差のもとにならないか？

●日本共産党・久永市議

おもちゃ美術館は子どもが屋内で過ごせる施設（下欄参照）。でも入館料が必要です。安価でも入館料を負担できる・できないで、利用する子どものなかに格差を生じさせるような施設にならないか、大府市内の子どもたちが利用しやすい施設になるのか――久永かずえ市議はこういう視点から質問を行いました。

Q：子ども達がフリーパスなどで継続して利用できる料金設定となっているか？

A：市民が利用しやすい料金設定を検討していく。本美術館は市内の子どもの子育て世代の方に優先的に利用いただきたい。他の美術館が行っている料金の軽減やパスの利用の取組みを参考にしていく。

Q：企画・立案はどのようなメンバーで行うのか？

おもちゃ美術館とは？

（大府市ホームページより）



A：企画広報戦略課を中心に関係各課と連携していく。

Q：既存の子育て支援施設とどのように連携していく考えか？

A：連携していく関係各課に子ども若者支援課、幼児教育保育課も含まれている。幼稚園施設、子育て施設も所管しているため、民間との情報提供も進めていく。

Q：「健康増進・交流拠点施設（仮称）」と2つの事業となるが管理運営はどこか？

A：施設全体は健康未来推進課2階の第2教育支援センターは教育委員会が担う。

団体利用などはあるか？

●他の議員の質疑から

他の議員からは、安定した運営のための来館者目標や観光資源の考えについて質問があり、次のようなやりとりが行われました。

集客：市民が優先利用できる方策の検討、保育園や幼稚園等の団体利用を考えている。

観光という側面：外から大府市を訪れる拠点となりうる施設。名古屋市、東海市、刈谷市、岡崎市などを視野に入れた来館促進が可能。観光協会と連携して観光資源との周遊性を高めるような取組を進めていく。

5月臨時市議会

▼5月13日(水) 午前9時より

議会の人事、補正予算などが審議される予定です。



子どもたちが遊びや体験を通して創造力や豊かな感性、主体性を育む新たな施設。特定非営利活動法人芸術と遊び創造協会が運営する東京おもちゃ美術館の総合監修のもと、良質な木のおもちゃを通じて、多様な遊びと体験の機会を提供し、天候に左右されることなく屋内で安全・安心に遊べる環境として整備する。

2026年度予算に計上されたのは、整備予算・8億982万円、関連予算・3億4268万3千円。合計11億5250万3千円。

相談はお気軽に
声かけください



生活相談 日常生活の困りごとについてご相談ください。

予約制で
弁護士が対応

法律相談

5月20日(水)午後6時～

無料

お急ぎの方も、まずは久永議員へ

久永かずえ 090-1758-3521
携帯電話